

事務事業名		佐野市スポーツ推進審議会運営事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生涯スポーツの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	15052	一般	10	5	1	佐野市スポーツ振興審議会運営事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	スポーツ基本法 佐野市スポーツ推進審議会条例 及び同条例施行規則		実施方法	直営	
							事業分類	審議会・協議会等運営事業		
							リーディングプロジェクト	該当		
							市長マニフェスト	3-14		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
佐野市スポーツ推進審議会条例・佐野市スポーツ推進審議会条例施行規則に基づき、本市のスポーツ推進計画及びスポーツ団体や指導者の育成、スポーツ施設の整備等に関する調査審議を行う。		・スポーツ推進審議会を3月に開催し、本市スポーツ行政の説明とそれに対する審議を行った。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
スポーツ推進審議会開催数		回	2	2	2	1	5

スポーツ推進審議会		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
スポーツ推進審議会		スポーツ推進審議会	団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

スポーツ推進計画、その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議するため、審議会が開催され、スポーツ行政全般の改善が図られる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
審議された議題件数		件		5	2	9	2	10

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

スポーツ・レクリエーションに親しんでもらう		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
1週間に1回以上スポーツを行っている成人市民の割合		%		40.7	40.6	38.5	40.5	45.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	168	137	129	61	500					
	事業費計(A)	千円	168	137	129	61	500					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費				
			委員報酬	168	委員報酬	137	委員報酬	129	委員報酬	61	委員報酬	456
	人件費	人	1	1	1	1	2					
のべ業務時間	時間	40	40	40	40	200						
人件費計(B)	千円	156	158	156	154	768						
トータルコスト(A)+(B)	千円	324	295	285	215	1,268						

事務事業名	佐野市スポーツ推進審議会運営事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	事業開始年度不明。スポーツ振興法(現スポーツ基本法)に基づき、佐野市スポーツ振興審議会(現佐野市スポーツ推進審議会)を置く。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	健康重視の社会情勢により、従来のスポーツ多種に新スポーツ種目、新レクリエーションが加わり施設の対応等の課題が増えてきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	・現状維持のため対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	本市のスポーツ行政に関する項目について審議するため意図と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の附属機関として審議会を設置しており、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	スポーツ行政を進める中で、知見のある外部の委員に方向性や課題等について審議してもらうことは、行政の向上のために有効であり、対象と意図を見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	審議会の設置運営は条例に基づいて行い、審議会の構成は委員の専門性を考慮して委嘱を行っているため、改めて成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費の全てが委員報酬であり、委員報酬は条例で規定されているため削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	市の附属機関である審議会であり、受益者負担を求めものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
市の附属機関として審議会を設置しているため、審議会を廃止しない限り終了とはならない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					